

GUNMA  
HOUSING  
AWARD  
2017

優秀賞  
コンセプト住宅賞

## 箕郷町の3つの家(ナナメ)

〈みさとまちのみつづのいえ(ななめ)〉

設計者 有限会社 HIRO建築工房

施工者 阿部工務店



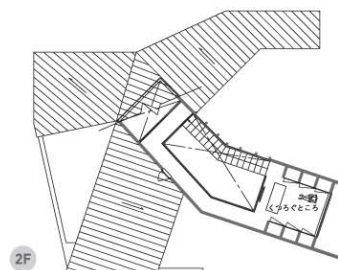
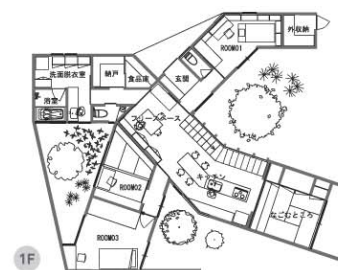
## CONCEPT

### 設計主旨

生活動線の交差する家。普段動線は、交差しないように設計する。この家ではあえて交差することで、家族の交流が深まると考えた。ご夫婦、子供さんは、普段仕事の関係上、生活の時間帯がバラバラになってしまう。そのため、睡眠時間とシャワー時間が重なってしまうなど、音の問題が発生したりする。そのため、各自確立されたプライベートスペースが第一希望となった。しかし、そのことで部屋にこもってしまう心配があった。そこで、プライベートスペースとパブリックスペースを交差させ、交差部分に人がたまりやすくすることで、家族交流が自然に発生するように工夫した。また、この建物は自然や街並み、

湖といった景色が望める高台にありながら、既存の周辺の家々が、邪魔になっている場所でもあった。設計者は、この近くに住んでいる経験から、特に景色の良い部分を抜き出し、その部分に対して建物を配置することで、建物配置が決定した。この場所は、北風がとても強い場所である。また、夏場は南から湖を通った風が駆け上がってくる場所でもある。大きく開いたこの形は、北風から家を守り、南からの風をしっかり受け止める。このような機能から生まれた形が、内部空間を必然性のあるものとした。

平面図



## REVIEW

### 講評

箕郷町の小高い丘の上に位置する敷地は自然に囲まれ、眺望の良い立地にある。この住宅の両隣には以前にぐんまの家を受賞した住宅が建つ。境界に塀などの仕切りの無い、デザイン性の共通した3棟が並ぶことで、独自の町並みが形成された。

X文字のように交差する平面プランはかなり複雑な印象を受けるが、実際に伺ってみると、視覚的にも部屋同士の繋がりは分かりやすく、使い勝手の良い動線となっている。中心部の「フリースペース」から広がるパブリックスペースは非常に開放的である。その先の一段下がった「なごむところ」やその上の「くつろぐところ」に思わず導かれてしまうような楽しさがある。

建物を交差することで特徴のある外部空間を生んでいる。眺望の良い外に開かれたゾーン、隣家に接しながらも視線を気にせず光が入る落ち着いたゾーン、そして浴室や洗面に面しては冬の北風を避けながら明るくプライバシーの高い内庭ゾーン。これらの外部空間を通して部屋同士を眺めたり、部屋の壁が隣地の視線を遮る役目をしたりと、非常に工夫された設計が行われている。

オーナーの要望や生活スタイルを伝える中でこの個性的な平面プランと建物のデザインが形成され、オーナーの満足度は非常に高い。家族の団樂とプライベートが守られた優れた作品である。

